

# 会 議 録

会議の名称		第48回 春日部市地域公共交通活性化協議会	
開催日時		開 会	午後2時00分
		閉 会	午後2時50分
開催場所		春日部市役所本庁舎2階201会議室	
議長(会長等)氏名		会長 久保田 尚	
出席者	委員氏名	(出席人数：12人) 久保田 尚、石塚 宏至、高木 純子、村上 晶彦、鈴木 敏仁、今村 純雄、藤田 直樹、池上 和成、関根 肇、飯塚 光弘、波多野 康治、渡辺 隆之	
	説明者 その他		
	事務局	(出席人数5人) 都市整備部次長兼都市計画課長 金子 秀樹、都市計画課交通計画担当主幹 長友 輝明、都市計画課交通計画担当主査 足立 孝介、都市計画課交通計画担当主任 生井 雅晃、都市計画課交通計画担当主任 千葉 陽介	
次第及び公開・一部公開・非公開の区分		<p>議 事</p> <p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域公共交通計画の令和5年度の評価について</li> <li>○タクシー車両活用実証実験（春タク）について</li> </ul> <p>報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○路線バスと春バスの乗り継ぎ割引の利用実績について</li> </ul> <p>以上、すべて公開</p>	
一部公開・非公開の場合はその理由		<input type="checkbox"/> 要綱第3条第1号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第2号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第3号該当： <input type="checkbox"/> 要綱第3条第4号該当：	
配布資料		次第、委員名簿、席次表、協議会資料	
会議録の作成方法		<input type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した全文記録	
		<input checked="" type="checkbox"/> 録音テープ等を使用した要点記録	
		<input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録署名の指定		議長及び議長が指名した委員1名が署名するものとする。	

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
司 会	<p><b>1 開 会</b></p>
司 会	<p><b>【 委員変更の報告 】</b> 委員 5 名の変更を報告</p>
司 会	<p><b>【 協議会の成立報告 】</b> 欠席委員は 7 名で、春日部市地域公共交通活性化協議会条例第 6 条第 2 項の規定による過半数に達しており、当協議会が成立していることを報告</p>
司 会	<p><b>【 配布資料の確認 】</b> (配布資料を確認)</p>
司 会	<p><b>【 会議の公開について 】</b> 本会議は原則公開での協議となっており、本日の議事をすべて公開としてよいか。 異議なし</p>
司 会	<p><b>【 傍聴人の確認 】</b> 傍聴人 5 名の報告</p>
	<p><b>2 議 事</b></p>
議 長	<p><b>【 議事録署名人の指名 】</b> 本日の会議録署名人に、朝日自動車労働組合 執行委員長の飯塚委員を指名する。</p>
事 務 局	<p><b>協議事項</b> <b>地域公共交通計画の令和 5 年度の評価について</b></p> <p>(地域公共交通計画の令和 5 年度の評価について事務局より資料 1 ～ 4 を用いて説明)</p> <p>本計画の令和 5 年度における評価について、協議をいただき、その結果を国土交通大臣及び総務大臣に提出する。</p> <p>「公共交通利用の促進」では、1 日あたりの公共交通利用者数は、目標値 172,000 人に対し、実績値 152,497 人と目標を下回っているが、令和 4 年度との比較では 5,626 人の増と回復の基調にある。</p> <p>「環境負荷の少ない交通体系の整備」では、バス停が近くにある施設まで自転車等で行き、バスに乗り継ぐことができるサイクル&amp;バスライドを令和 5 年 6 月 1 日から導入し、現在、5 箇所のサイクル&amp;バスライド駐輪場を設置している。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p>委 員</p> <p>事 務 局</p>	<p>「公共交通利用圏域の人口カバー率」は、目標値 90%以上に対し、実績値 82.4%と目標を下回っているが、地域と年齢等を限定してタクシー運賃を補助する「春タク」を令和6年1月から実証実験として実施し、人口カバー率の向上を図っている。</p> <p>「路線バスと春バス等の乗り継ぎ拠点数」は、目標値 16 箇所、実績値 8 箇所となり、目標を下回った。</p> <p>「公共交通に関する行政経費の適正化」の営業係数は、100 円の営業収入を得るために要する経費であり、営業係数の目標値 600 以下に対して、実績値は 517 となり、令和4年度に引き続き目標を達成した。</p> <p>令和5年度の春バスの全ルート合計の利用者数は、100,767 人で、令和4年度の全ルート合計の利用者数 97,555 人に比べ、3,212 人の増加で前年度比約 3.2%の増加となり、利用者数は、過去最高を更新した。これは、コロナ禍で落ち込んだ利用者数が回復したこと、また令和2年末に市内を運行していたバス路線が廃止されたことによると考えられる。</p> <p>また、第四次春バス運行が開始された令和6年1月から3月までの春バス利用者数は、合計 22,748 人、第三次春バス運行期間である令和5年1月から3月までの春バス利用者数は、合計 23,560 人となった。</p> <p>春バスの路線を 6 ルートから 3 ルートに再編した令和5年度の第四次運行における利用者数は、令和4年度の第三次運行の同期間に比べ、約 3.4%の減少と減少幅は僅少であり、先ほど説明させていただいた同期間で比較すると、営業係数は、第四次運行では 493、第三次運行は 585 と改善している。</p> <p>以上のことから令和4年度に引き続き目標となっている営業係数は、600 以下を達成することができたが、春バスの公費負担率は依然として高い状況にある。</p> <p>〔質疑応答〕</p> <p>3点伺いたい。1点目は、目標「まちづくりとの連携」については、備考欄ではなく評価・次年度に向けた課題や取組欄に記載した方がよいのではないかと。2点目は、「市民の生活利便性向上」の達成状況のうち「公共交通利用圏域の人口カバー率」が実績値 82.4%となった理由は何かと。3点目は、「路線バスと春バスの乗り継ぎ拠点数」が 8 箇所の理由は何かと。</p> <p>1点目については、ご提案の通り備考欄に記載するのではなく、評価・次年度に向けた課題や取組欄に記載する。</p> <p>2点目の人口カバー率の減少は、第三次運行の 6 ルートから第四次運行では、3 ルートに路線が減少したため、これについては、このあとのご説明になるが、タクシー車両活用実証実験（春タク）を 1 月から実施し、人口カバー率の向上を検討しているところである。</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
<p>議 長</p> <p>事 務 局</p> <p>議 長</p>	<p>3点目の路線バスと春バスの乗り継ぎ拠点数についても、同様に6ルートから3ルートへ路線を減少したためであり、今後路線バス事業者とも協議し、乗り継ぎ拠点を増やす検討を進めてまいりたい。</p> <p>「⑥サイクル&amp;バスライド」の実績値はありますか。</p> <p>実績まで追えていない。現在、5カ所の施設で実施しており、今後、実績の把握に努めます。</p> <p>他に意見がないようなので、先ほどのまちづくりとの連携の①の備考欄を本欄に記載する修正をして、令和5年度の評価として国に報告することで承認してよいか。</p> <p>異議なし</p>
<p>事 務 局</p>	<p><b>協議事項</b></p> <p><b>タクシー車両活用実証実験（春タク）について</b></p> <p>（タクシー車両活用実証実験（春タク）について、事務局より資料5～7を用いて説明）</p> <p>春タクは、春バスのルート再編により、公共交通空白地域が広がる庄和地域において、市民の移動手段の確保のため、タクシー運賃補助制度の実証実験を行っているものである。</p> <p>運行区域は庄和地域全域、対象者は庄和地域において、道のりで鉄道駅から800m以上かつ春バス・路線バスのバス停留所から300m以上の距離に居住する75歳以上の方及び妊産婦である。</p> <p>実績報告について、令和6年3月31日現在、396件の申請があり、対象要件を満たす343名に利用登録証を交付した。令和6年1月から3月の利用回数は284回、タクシー会社への補助金額は、197,050円である。なお、令和6年4月から6月においては、利用回数は、月約110回程度、タクシー会社への補助金額は月およそ7～8万円程度である。</p> <p>また、実績等を検証する上での基礎資料とするために資料6のアンケート調査を実施した。資料7-1のとおり本調査は、利用登録者380名と庄和地域内にお住まいの70歳以上の方620名の合計1,000人を抽出して実施した結果、584名から回答をいただきアンケート回収率は約58%となった。</p> <p>主な結果として、春タクの認知度の割合は、約59%で、満足度については、「非常に満足」と「まあまあ満足」をあわせて約70%となった。また、アンケートの最後の設問のご意見欄の内容は、資料7-2にまとめて掲載したので、ご覧いただきたい。</p> <p>[質疑応答]</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
委 員	妊産婦の方への周知方法としては、どのようなことを行っているのか。
事 務 局	広報に掲載したほか、市公式 SNS のエックスやラインで「ご家族・ご友人にもぜひお伝えください。」との文言を入れて発信しました。今後は、公共施設にチラシを再度配架するなどさらに周知に努めていきたい。
議 長	妊産婦の方は登録者 1 名だが、妊産婦の方が必ず来られる産婦人科など医療機関で周知を行うなどそういったことも考えられると思う。
委 員	庄和地域に住んでいるが、南桜井駅にタクシーが待機しているのをほとんど見たことがなく、南口のロータリーにおいても同じである。アンケートの意見をみると、ほとんど「タクシーの利用ができない」という意見が多く、この対応の検討をお願いしたい。
事 務 局	今後、検討していきたい。
議 長	実績をみると、53 人の方が利用のお断りをされたということなるが、これらの原因は年齢か。
事 務 局	年齢ではなく大半は距離の要件である。
議 長	利用を断られた方の反応などには何かあるか。
事 務 局	対象外となった理由を示してお断りしているので、それ以上の強い不満は寄せられていない。
委 員	<p>実績を見ると春タクの活用はまだ少ないように思う。庄和地区は、16 号から北は農村地帯が多く、通常の生活でも自分の車、家族の車を使った生活が非常に多いと思う。タクシー車両活用のアンケートへの関心もあまりないのではないかと感じる。</p> <p>また、条件の駅から 800m はともかく、バス停から 300m 以上だと庄和地区に限らずいくらでもある。そうしたとき、福祉バスではないが、基本的に高齢者対策としては、全域に広げて希望者を募った方がいいのではないかと思う。</p> <p>かといって、そうしたとしても、それほど希望者が増えて大きな数になるとは思えない。先ほど触れたように、自分や家族の車で送り迎えが多い中で、すぐにこの春タクに切り替えるかということそうはならないと思う。</p> <p>今後どういう形になるかはわからないが、バス停から 300m 以上を条</p>

発 言 者	発言内容 ・ 決定事項
議 長	<p>件とすると武里、幸松、小湊の奥や杉戸町との境なども該当してくる。むしろ住宅密集地帯の方が利用者が多いのではないかと思う。</p> <p>ただ今のご意見は、この社会実験の成果を次にどう活かすかという点で大変貴重なご意見である。タクシー車両活用実証実験は、令和7年3月末まで継続するという事なので、今後も推移を見守りながら協議していきたい。</p> <p>他にご意見がなければ、以上の協議事項を承認するという事によいか。</p> <p>異議なし</p>
事 務 局	<p><b>3 報告事項</b> <b>路線バスと春バスの乗り継ぎ割引の利用実績について</b></p> <p>(路線バスと春バスの乗り継ぎ割引の利用実績について事務局より資料8を用いて報告)</p> <p>公共交通全体の利用者の増加や、利便性の向上を図るため、春バスと路線バスを相互に乗り継ぐ際に、乗り継ぎ後のバス運賃の割引が受けられる制度を資料8に掲載の5路線で実施している。割引金額は、100円、半額運賃対象者は50円である。</p> <p>実績内容としては、第四次春バス運行が開始された令和5年度の1月から3月における利用者数は、令和4年度の第三次春バス運行の同期間に比べ、約2.8倍、209人の増加となった。</p>
議 長	<p>第四次運行以降、利用者が増えている理由は、何か。</p>
事 務 局	<p>第四次運行の再編で、利用者の多いルートの数を増やして効率化したことにより乗り継ぎ割引の利用者も増加していると考えられる。</p>
議 長	<p>これで本日の協議・報告事項は終了したので、議長の任は以上で終わりとする。</p> <p><b>4 閉 会</b> 閉会宣言 — 散会 —</p>

議事の顛末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

令和6年8月29日

議事録署名人氏名

議 長 久保田 尚 (原本は自署)

議事録署名人 飯塚 光弘 (原本は自署)